

形成外科

1. スタッフ (2024年4月1日現在)

科長（教授）	山本 直人
医員（講師）	乗原 征宏
病院助教	細山田広人
シニアレジデント	平山 貴浩 3名

2. 診療科の特徴

- 認定施設

日本形成外科学会 形成外科専門研修基幹施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 乳房再建エクスパンダー・インプラント実施施設

- 認定医

日本形成外科学会形成外科領域指導医
山本直人他 2名
日本形成外科学会形成外科領域専門医
山本直人他 4名
同 皮膚腫瘍外科分野指導医
山本直人他 2名
同 再建・マイクロサージャリー分野指導医
山本直人他 2名
日本創傷外科学会専門医
山本直人他 2名
日本美容外科学会（JSAPS）教育専門医 山本直人

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	403人
再来患者数	5,909人

2) 入院患者数 3,408人

3-1) 病名別手術手技件数

National Clinical Database (NCD) 登録診療実績より

疾患大分類	入院	外来	合計
外傷	152	107	259
先天異常	42	13	55
腫瘍	166	243	409
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	33	32	65
難治性潰瘍	184	11	195
炎症・変性疾患	42	15	57
美容（手術）	0	0	0
その他	108	15	123
レーザー治療	0	0	0
合計	727	436	1,163

4. カンファランス

毎週月曜午後：形成外科総合カンファランス、手術症例検討会、抄読会

5. 研究・学会活動

各種の創傷治療、マイクロサージャリーに関する研究をテーマとしている。2024年度は日本形成外科学会、日本創傷外科学会、日本マイクロサージャリ学会などでの口演発表、論文発表、また各種の学会で講演活動をおこなった。

6. 部門・部署ごとの事業計画

目標に関する達成度

前年同様の診療実績を残すことができた。リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術 (LVA)、癌術後の再建術、足壊疽の救済治療、各種の外傷治療など幅広い診療ができている。LVAは超音波造影剤を用いた超音波検査による拡張リンパ管の術前同定を臨床検査部と新しく開発し、臨床適応している。

2025年の目標等

2024年から当科での形成外科専門研修プログラムによる専攻医を受け入れ、教育研修を開始し、順調にすすんでいる。2025年度も診療、教育、研究を進めてゆく。